

日本共産党 森川 ヤスエ 議員



- 1 玉垣、算所保育所の建て替えについて
(1) 実現するためにどのように進めるのか
- 2 介護サービスにもれる高齢者支援について
(1) 高齢者の日常生活支援制度を求める

質問1(1) 玉垣保育所や算所保育所は老朽化が著しく修繕整備でもたせるにも限界に達して建替えの必要性や、移転新築が必要との認識がある。鈴鹿市の大切な子どもたちが一日過ごす大切な生活の場所であり、子どもたちの安全のためにも建設時期の目標を立てて移転新築し、老朽化の改善が図られるよう求める。

答弁1(1) 行財政アクションプランの中で26年度を目途にして進めていきたい。

質問2(1) 高齢になると身体機能が低下に向かい日常生活を十分にこなせなくなり、自立した生活には、重たいものを動かしたり、庭木の剪定・草取りなど周辺の片付けに支援が必要ことが多い。自宅で生活する高齢者に少し生活支援をすることは介護予防につながる。一人暮らしや高齢者世帯が地域で安心して住み続けられるようにぜひ介護保険制度に該当しないみなさんへの生活支援制度を求める。

答弁2(1) 介護保険非該当になられる方の生活上の課題の支援については、健康保持、生きがい作りなどを含めた公的な支援策のあり方を関係機関(広域連合等)と協議を行い検討したい。

あくていぶ21 竹口 眞睦 議員



- 1 鈴鹿市のスポーツ振興計画
(1) 硬式野球場の建設
- 2 白江土地区画整理事業の公共用地
(1) 事業の進捗状況と今後の予定
(2) 公共用地の利用方針について

質問1(1) 硬式野球場建設について、鈴鹿市の現状での見通しは。

答弁1(1) 平成24年3月に策定された「三重県スポーツ施設整備方針」に基づき三重県営鈴鹿スポーツガーデンを総合的なスポーツ施設として整備充実を図るよう、三重県に対して要望しており、引き続き県への建設要望を継続していきたい。

質問2(1) 白江土地区画整理事業の進捗状況は。

答弁2(1) この事業は平成14年に県の事業認可を受け施工面積25.7ha、総事業費40億円、地権者数232名の大規模事業である。平成24年度に完成予定だったが、一部地権者との仮換地指定や建物移転補償交渉で難航し、3年延長し27年度末に変更している。

質問2(2) 白江土地区画整理事業地内に確保された公共用地の利用方針はどうなっているか。

答弁2(2) 平成23年2月に庁内検討会を立ち上げ「交流とにぎわい」をテーマに議論を重ねてきた。しかし検討する施設内容が多種多様であるため、部局間の調整が必要であり、また、財源確保が極めて困難な状況でもあるため、検討に時間を要している。今後も庁内検討を重ね、区画整理事業の目途がつく平成27年度を目標に、議論の熟度を高めていきたい。

政友会 泊り 育美 議員



- 1 少子化対策について
(1) 不妊について
(2) 妊婦への処遇と産休、育休について
(3) 授乳室(ベビールーム)について

質問1(1) 鈴鹿市の不妊治療に対する助成金の現状は。また、不妊に繋がる原因を早期に発見、治療するために行うブライダルチェックについて、行政として推進する考えはあるのか。

答弁1(1) 不妊治療を受ける夫婦に対し1回の治療につき上限10万円、自己負担額の2分の1を1年度当たり1回、通算5年間までの助成を行っており、申請件数は平成23年度120件。ブライダルチェックについては非常にデリケートな個人情報になり、行政の積極的な推進は、

慎重にならざるを得ないと考える。

質問1(2) 職員の妊娠中の休暇や産休、育休の取得状況、妊婦に対する職場の反応は。

答弁1(2) 妊娠中の健診休暇は過去3年で10人、育児休暇は平成23年度に53人が取得。妻が出産時に取得できる出産補助休暇を取得した男性職員は過去3年間で74人。子育てと仕事の両立がしやすいよう、働きやすい環境の実現に向け取組みたい。

質問1(3) 市内公共施設の授乳室の設置状況と今後の対策は。

答弁1(3) 市役所庁舎、りんりん、ハーモニー、はぐはぐ、ジェフリーすずか、市民会館に設置。今後は次世代育成支援対策推進法に基づき、利用者の意見を参考にしながら設置の必要性を検討したい。